

4. 「たかひで」ギャラリー!

◆直近の活動を写真で紹介します!



新入社員歓迎ボーリング大会

毎年恒例のトヨタ労組ボーリング大会にお招きいただきました。楽しいひと時でした。



新成人を祝う会

新成人を祝う会に出席しました。時代は夢をもった若者によって創られる。これからも頑張ってください!



豊田市消防出初式

市民の安心・安全を担う関係者の皆様の訓練風景や強固な消防体制を確認し、感銘を受けました。



くらしの相談の現地確認

くらしの相談として調整していた市道の修繕が完了したため確認にきました。きれいになってますね。



豊田市北部給食センター

4月から稼働する給食センターの内覧会に出席しました。たくさん食べてすくすく育ててほしいですね。



豊田市長選

豊田市長選では太田市長の随員として行動しました。多くの方のご協力ありがとうございました。



先進自治体の視察

不登校支援で先進的な自治体の調査に伺いました。学んだことは一般質問や今後も政策要望などで提言します。



SDGs (持続可能な開発目標) の研修

国際的に注目されているSDGs未来都市に本市が認定されたことを受け、より深く学んでまいりました。



NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE

名古屋市の産業推進の取組を視察しました。参考になることも多く、今後の産業推進に活かします。

◆鈴木たかひでへ皆様のご意見・ご要望・困りごとをお寄せください。

○連絡先：豊田鉄工労働組合 豊田市細谷町4丁目50番地 TEL/FAX: 0565-28-8437

自宅：豊田市西広瀬町登り256番地 携帯：090-3453-5316

フェイスブックで日々の活動をアップしています。

是非検索して覗いてください。



facebook

鈴木孝英

検索



皆さまの声を市政に!

鈴木たかひで

ヤル気!
元気!
鈴木!

Vol.19



発行日：令和2年4月吉日

発行：鈴木たかひで後援会

春の暖かさを感じる季節となりました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。令和元年度はラグビーワールドカップ2019が大盛況に開催されるなど、明るいニュースの一方で、豚熱や新型コロナウイルスの発生などへの対応や防止策が求められる事案も発生しています。令和2年度も引き続き行政の場で様々な課題や社会問題に迅速かつ的確に対応すると同時に、新たな気持ちで市の魅力創出にチャレンジしていきます。さて3月議会では71議案に対する審議や一般質問に登壇しましたので、私の活動内容と共に市政報告をさせていただきます。皆様におかれましては今後とも健康に留意されると共に、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

1. 「暮らしの相談」のご報告!

ご相談いただいた内容には迅速に対応します。またご要望に添えない場合でも納得していただける説明をすることをモットーとしています。皆様のご相談をお待ちしております。

お気軽にご相談ください

右折事故の発生したカーブの路面標示により、安全確保に取り組みました!

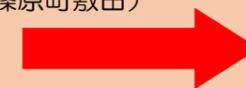


Before

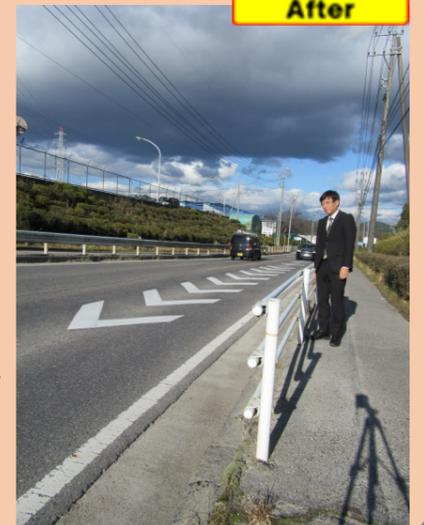


相談者：右折する道路がカーブで見渡しが悪く、スピード超過の走行車も多い。危険なので対策してほしい。

(篠原町敷田)



カーブ直前の路面に減速マークを施行することで注意喚起を促し、安全性の向上を図りました。



After

2. 令和2年度に始まる注目の取組を報告します！

GIGAスクール構想

◆小中学校の児童生徒に対し1人1台のタブレット端末を整備します！

令和時代のスタンダードな学校像として、高速大容量の校内通信ネットワーク、及び児童生徒1人1台の端末整備の方針が国から示されたことを受け、ICT環境整備の早期実現を目指します。

- 整備計画 *詳細な使用開始時期は現時点で未定です。
令和2年度 全104校のLANの改修・小学4年生～中学3年生までのタブレット端末の整備
令和3～5年度 小学1年生～3年生までのタブレット端末の整備

- 使用用途と期待する効果
 - ・教科書に記載されたQRコードを活用して習熟度別の個別学習や、手本となる動画視聴等ができます。
 - ・遠隔地の経験豊富な社会人の広義、社会教育施設のバーチャル見学等ができます。
 - ・ドリル問題の採点と集計、健康状態の確認等がタブレットで可能になり教員の負担が軽減されます。

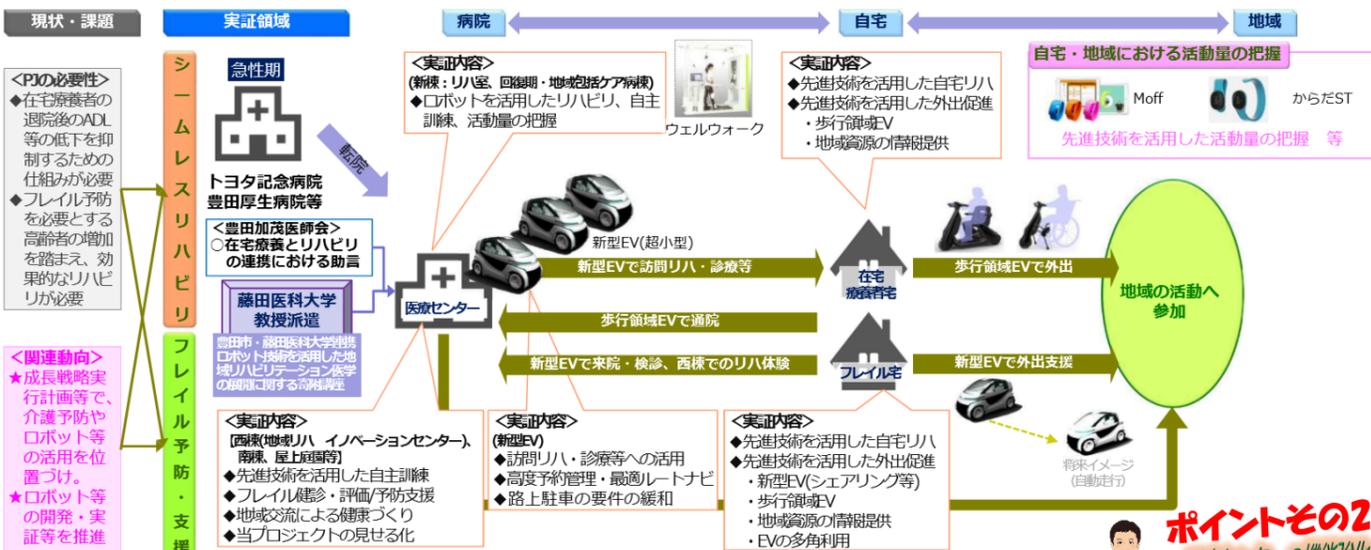
ここがポイント！
教育環境の充実！



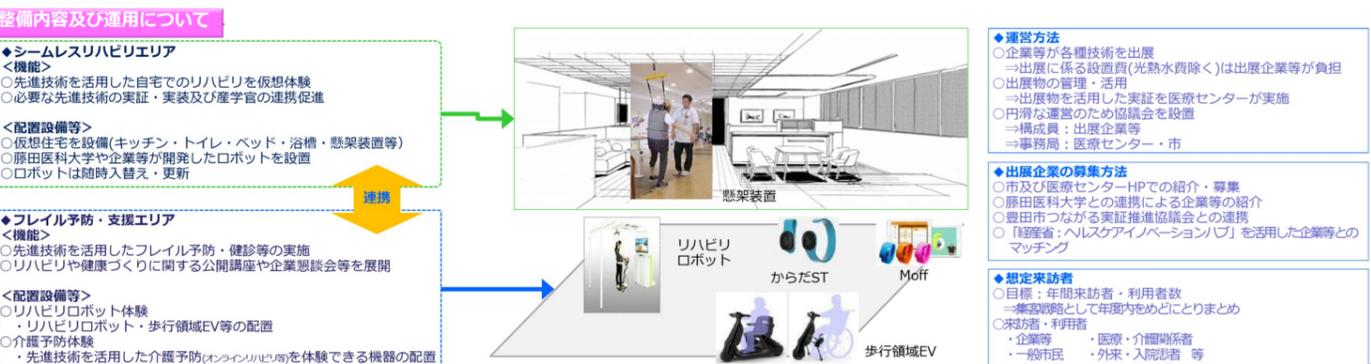
先進技術を活用した地域リハビリテーションの推進に関するプロジェクト

◆産学官の連携のもと多様な先進技術（ロボット・モビリティ・ICT）を活用し、モデルとなる地域リハビリテーションの推進の仕組みを実証します！

ポイントその1
在宅医療の充実！



◆拠点となる医療センターの西棟を改修し、先進技術を活用した「地域リハビリテーションの充実」と「総合診療医の拡充・在宅医療体制の充実」を図り、将来的な在宅療養の増加に対応します！ *6月設計開始



3. 一般質問の機会を頂きました！

今回は「誰一人取り残さない不登校支援」をテーマに質問をしました。不登校児童生徒の増加を受け、心のケアから復学に向けた施策のあり方を大きく見直す必要があると考えています。質問では、子どもの居場所である通所施設の拡大、学校と通所施設との連携、組織体制の強化、家族に対する助言などを求めました。前向きな答弁を得ることができました。今後の行政の取組に注視してまいります。以下質問の一部を報告します。



イメージ写真

①学校にいられない子どもたちへの支援

質問) 復学を支援する通所施設の拡大を求める。

答弁) 今後は適切な支援を実施していると評価できる民間施設等とも連携を図り、増加している不登校児童生徒の居場所の拡大を図る。また地域学校共同本部と連携して地域の公共施設等で支援の拡大に努めていく。

質問) 通所施設と学校との連携は？

答弁) 市の適応指導教室では不登校専門員が学校と担任が面談をしながら、通所の状況に応じて「学校の出席扱い」としている。統一テストや学校の定期テストについてもパルクとよたで受けることできるよう可能な対応に努めている。

質問) 別室登校する子どもの支援強化を求める。

答弁) いわゆる別室登校は不登校と違い文科省の定義がないため正確に把握していない。不登校になる前の早期発見と早期対応が重要と考えている。令和2年度より、市で独自の定義を定めて状況把握を行い、学校と連携しながら個々に応じたサポートを強化していく。

質問) 相談支援体制の強化は？

答弁) スクールカウンセラーを増員し、小学校で週一回、中学校で週2回程度配置する。また心の相談員についても市独自の配置基準を定め増員をする。またパルクとよた内にスクールカウンセラーや心の相談員に助言を行う「スーパーバイザー」も常勤配置する。

②切れ目のない支援

質問) 義務教育である中学卒業後の支援は？

答弁) 不登校児童生徒は中学卒業と同時にその統計から除外され、子どもたちからすれば心に課題を抱えたまま現状の支援が終了してしまう。卒業後は15歳から39歳までを対象とする「豊田市若者サポートステーション」など、他の支援先へつながらよう引き続き支援する。

質問) 若サポでアウトリーチ型支援の導入を求める。

答弁) 自力で通所が困難な若者に対して自宅への訪問を通じて支援するアウトリーチ型支援は信頼関係や訪問支援体制の構築の課題はあるものの、必要な場合があると認識している。今後は若者サポートステーションにおけるアウトリーチ型支援について調査研究をする。



豊田市青少年相談センター（パルクとよた）